

令和5年度事業報告

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

目次

1	令和5年度事業報告	1
---	-----------	---

令和5年度事業報告について

令和5年度から開始された国の第4期がん対策推進基本計画（令和5年度～10年度）においては、全体目標として「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」を掲げ、「がんの予防及び早期発見の推進」などを柱に検診受診率60%を目指していることから、当事業団においても受診勧奨に積極的に努めてまいりました。

普及啓発事業では、テレビやラジオ、新聞などのほか、新たにSNSも活用しながら検診の受診率向上などの普及啓発を継続して行ったほか、県内プロスポーツ試合において、乳がんに関する資料配付やパネル展示等を実施するなど、県民のがん予防や生活習慣病予防等への関心を高め、健康に関する意識向上に寄与する事業を展開いたしました。

集団健診事業の住民健診では、市町とともに健診受診率の向上を目指し「Web予約システム」や「コールセンター事業」などの事業を継続的に実施したほか、事業団が設定した対象群（40・45・50・55歳の女性）への受診勧奨も積極的に行ったことなどから、新型コロナウイルス感染拡大前と同程度の受診者数に回復いたしました。

検査事業では、先天性代謝異常等検査において、令和4年度に自治医科大学等と共同研究として実施した脊髄性筋萎縮症と重症複合免疫不全症の2疾患を、従来の先天性代謝異常等検査20疾患と併せて、栃木県からの委託事業として実施いたしました。

人間ドック事業では、新型コロナウイルス感染症の蔓延が落ち着いてきたことなどから受診者が増加いたしました。また、今年度新たに3Dマンモグラフィ検査を開始いたしました。

特定保健指導事業では、令和6年4月から開始する第4期特定保健指導に向け運用方法の見直しや新たな電算システムの導入などに取り組みしました。

食品環境検査事業においては、検査事業の実施体制の効率化と施設の有効活用を総合的に判断し、腸内細菌検査事業を食品環境検査所（栃木県保健環境センター内）へ移転することとし、令和6年4月稼働に向けた準備に取り組みしました。

令和5年10月から開始された消費税の「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」については、電算システムの改修などを行いたく対応いたしました。

今後は、とちぎ健康の森施設の長寿命化工事の影響を最小限に抑えるとともに、引き続き計画的な職員採用、人材育成、設備投資や健診・検査の精度管理の維持向上に努め、デジタル化社会などにも柔軟に対応できるよう「企画戦略プラン第3期」を着実に推進しながら、経営基盤の安定強化に努めてまいります。

第1 普及啓発事業

県民が、疾病予防や健康の保持・増進及び生活環境に関する正しい知識を得て、健診・検査を受けるなどの適切な疾病予防行動に繋げることを目的とした普及啓発事業を実施しました。

1 予防医学推進のための普及活動

結核・がん・生活習慣病等予防及びメンタルヘルスに関する知識の啓発のために、県・市町・医師会及び各種関係団体等との連携に努めながら各種メディアの活用やイベントの開催・参加などによる普及啓発活動を展開しました。なお、令和5年度は新たにSNSを活用した啓発活動を行いました。

(1) 結核予防活動

県民の結核に関する意識の高揚と正しい知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 結核予防週間運動の実施（9月24日から30日）

(ア) 県や市町及び学校等に結核予防のポスターやパンフレットを配付し、結核予防に関する普及啓発を行いました。

- ・ポスター 980部
- ・パンフレット 14,300部

(イ) 結核予防に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用した普及啓発を行いました。

- ・テレビ 45秒告知 1種 10回（とちぎテレビ）
- ・ラジオ 20秒告知（※） 1種 21回（エフエム栃木）
90秒告知 1種 5回（エフエム栃木）
- ・新聞 半3段モノクロ告知 1種 1回（下野新聞）
栃木版半3段モノクロ告知 1種 1回（読売新聞）
- ・SNS X（旧Twitter）投稿 1種 2回

（※）当事業団の職員による収録・放送

イ 複十字シール運動の実施

(ア) 結核予防活動の一環として、公益財団法人結核予防会が全国的に行う「複十字シール運動」に協力し、8月から12月まで募金活動を実施しました。

この募金は、全額を公益財団法人結核予防会に納付し、結核予防の広報や教育資材の作成・調査研究に役立てられます。

- ・令和5年度募金額 1,535,500円

(イ) 結核などの胸部に関する疾患予防の普及啓発活動として行っている「全国一斉複十字シール運動」の開始にあたっての栃木県知事への表敬訪問を8月3日に実施しました。栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との合同で、結核の現状報告並びに複十字シール運動への協力を依頼しました。

(ウ) 「複十字シール運動」の意義を広く県民に伝え、結核予防思想のより一層の普及を図ることを目的とした「街頭キャンペーン」を実施しました。栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との共催で、9月23日に宇都宮オリオン通り商店街東武駅前アーケードにて募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配付などを行いました。

(2) がん征圧活動

県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 栃木県がん征圧月間運動の実施（9月1日から30日）

(ア) 栃木県及び一般社団法人栃木県医師会との共催により「栃木県がん征圧月間運動」を実施しました。県や市町等のほか、県内の教育機関にがん検診に関するポスターやリーフレット等を配付し、がん予防に関する普及啓発を行いました。

- ・ポスター2種（がん征圧、禁煙 各1,220部） 計2,440部
- ・リーフレット2種
（がん検診：4,000部、女性のがんと健康：4,000部） 計8,000部
- ・冊子（がんを知ろう） 2,300部

(イ) がん検診に関する内容について県内のマスメディアや SNS を活用し、がん征圧運動を周知しました。

・テレビ	45 秒告知	1 種	20 回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	90 秒告知	2 種	20 回 (エフエム栃木)
・新聞	半 3 段モノクロ告知	1 種	1 回 (下野新聞)
	折込紙見開き 1/2 フルカラー告知	1 種	1 回 (下野新聞折込紙「アスポ」)
	栃木版半 3 段モノクロ告知	1 種	1 回 (読売新聞)
・ SNS	X 投稿	1 種	4 回
	X プロモツイート	1 種	1 月
・立て看板 (とちぎ健康の森エントランスに設置)		1 カ所	

(ウ) がん対策運動のシンボルカラーとして有名な乳がんの“ピンク色”のライトアップを、9 月 1 日から 10 日に宇都宮タワー (八幡山公園) で実施したほか、9 月 16 日から 10 月 15 日に栃木県健康増進課との共催で栃木県庁昭和館のライトアップを実施しました。

(エ) がんに関する正しい知識の普及とがん検診の啓発を目的とした「街頭キャンペーン」を 9 月 10 日に実施しました。宇都宮オリオン商店街東武駅前アーケードにて募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配付などを行いました。

イ がん征圧募金運動の実施

(ア) がん征圧活動の一環として「がん征圧募金運動」を 9 月から 12 月まで実施し、県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を行いました。

この募金は、がん征圧の普及啓発活動に役立てています。

・令和 5 年度募金額 3,324,683 円

(イ) がん征圧募金に関する内容について県内のマスメディアや SNS を活用し告知掲載を行いました。

・新聞	半 3 段モノクロ告知	1 種	1 回 (下野新聞)
	栃木版半 3 段モノクロ告知	1 種	1 回 (読売新聞)
	栃木版半 3 段モノクロ告知	1 種	1 回 (朝日新聞)
	栃木版半 3 段モノクロ告知	1 種	1 回 (毎日新聞)
・ SNS	X 投稿	1 種	1 回

ウ 県内プロスポーツ試合での普及啓発

乳がんを中心としたがんに関する正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的とした「とちぎ de ピンクリボン」イベントを男子プロバスケットボールリーグ (B リーグ) の宇都宮ブレックス主催試合の冠スポンサーとなり、11 月 4 日、5 日の 2 日間ブレックスアリーナ宇都宮で行いました。乳がんに関する資料配付やパネル展示、場内アナウンスや大型ビジョン等を活用して乳がんをはじめとしたがん検診の普及啓発を行いました。

エ がん予防に関する意識を高めるイベントへの参加

公益財団法人日本対がん協会とボランティアによる地元実行委員会が主催する、がん患者並びにその家族と支援者のためのチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 とちぎ」(9 月 2 日～3 日: 壬生町総合公園陸上競技場) が開催され、事務局として参画しました。

また、当事業団はルミナリエに協力したほか、リレーウォークにも参加しました。

オ その他の主ながん検診受診率向上への取組

厚生労働省、都道府県等が主催する各種普及週間・月間に呼応し、がん検診に関する内容について県内のマスメディアや SNS を活用し、がん検診受診率向上のための啓発活動を行いました。

・テレビ	45 秒告知	5 種	60 回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20 秒告知 (※)	3 種	63 回 (エフエム栃木)
	90 秒告知	2 種	20 回 (エフエム栃木)

・新聞	1面突出しフルカラー告知	3種 3回 (下野新聞)
	半3段モノクロ告知	1種 1回 (下野新聞)
	栃木版半3段モノクロ告知	1種 1回 (読売新聞)
・SNS	X投稿	5種 11回
	Xプロモツイート	1種 1月

(※) 当事業団の職員による収録・放送

(3) 生活習慣病等予防や生活環境に関する普及活動

県民の生活習慣病等予防や疾病の早期発見及び生活環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 禁煙週間 (5月31日から6月6日) の普及啓発

(ア) 禁煙に関するポスターの配付と展示を行いました。

・禁煙ポスター (配付) 282部

(展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・食品環境検査所・事業団打合せコーナー

(イ) 禁煙週間に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し普及啓発を行いました。

・テレビ	45秒告知	1種 10回 (とちぎテレビ)
・新聞	1面突き出しフルカラー告知	1種 1回 (下野新聞)
・SNS	X投稿	1種 1回

イ 栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間 (11月1日から30日)

(ア) 県から提供を受けた普及啓発ポスターやリーフレットの配布を行い、糖尿病予防と重症化防止のための啓発活動を行いました。

・世界糖尿病デーポスター (展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

・リーフレット (配布) 4種 計320部、とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

(イ) 糖尿病予防に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し普及啓発を行いました。

・テレビ	45秒告知	1種 20回 (とちぎテレビ)
・新聞	1面突き出しフルカラー告知	1種 1回 (下野新聞)
・SNS	X投稿	1種 1回

ウ 生活習慣病等予防の普及活動

生活習慣病予防やメンタルヘルス対策に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、健診・検査の受診率向上を図りました。

・テレビ	45秒告知	5種 60回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	4種 84回 (エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	5種 5回 (下野新聞)
	半3段モノクロ告知	1種 1回 (下野新聞)
	栃木版半3段モノクロ告知	1種 1回 (読売新聞)
	栃木版半3段モノクロ告知	1種 1回 (毎日新聞)
・SNS	X投稿	12種 14回

(※) 当事業団の職員による収録・放送

エ 生活環境に関する普及活動

(ア) 食品衛生月間 (8月1日から31日) に併せ、手洗いの励行や食品の温度管理等とハサップに関する内容について、県内のマスメディアやSNSを活用し意識の向上と知識の普及を図りました。

・テレビ	45秒告知	1種 20回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	2種 42回 (エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回 (下野新聞)
・SNS	X投稿	2種 2回

(※) 当事業団の職員による収録・放送

- (イ) 県内のマスメディアを活用して、簡易専用水道検査の受検勧奨を行いました。
- ・ラジオ 20秒告知(※) 1種 21回(エフエム栃木)
- (※) 当事業団の職員による収録・放送

オ 関係機関等との連携・協力による普及活動

- (7) 県や市町及び民間団体等で実施される健康関連イベントなどに協力し、パネル展示やリーフレット・啓発グッズの配付・提供を行うなど、健診・検査の重要性について普及啓発を行いました。
- ①とちぎ健康の森フェス(社会福祉法人とちぎ健康福祉協会：とちぎ健康の森 6月4日)
禁煙、肺がんに関するポスターの掲示、普及啓発グッズの配付
 - ②市町及び事業所の実施する健康に関するイベントへの普及啓発グッズの提供(3市町)
ノベルティ3種 計1,060個、リーフレット2種 計40部
 - ③栃木県誕生150年記念協賛事業(栃木県県民の日実行委員会：栃木県庁 6月10日)
パネル展示2種、ノベルティ3種 計300個、リーフレット2種 計200部
- (イ) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会が発行する機関紙等を県、市町、受診団体等へ配付しました。
- ・複十字誌(公益財団法人結核予防会) 2,742部
 - ・健康の輪(公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会) 240部
 - ・対がん協会報(公益財団法人日本対がん協会) 7,462部
 - ・予防医学ジャーナル(公益財団法人予防医学事業中央会) 216部

2 健診・検査受診率向上のための普及活動

疾病の早期発見・早期治療のためには健診・検査を受診することが非常に重要であることから、ホームページや定期情報誌を通じて健診・検査の意義や効果を啓発する事業を実施し、受診率の向上を図りました。

(1) ホームページの公開

事業内容や採用情報など当事業団の情報や、調査・研究事業から得た情報を掲示するほか、健診・検査の基礎知識や生活習慣病、食品の取扱いについてなど、県民の健康・保持増進に役立つ情報を配信しました。

なお、ホームページについては、利用者により分かりやすく、また、スマートフォン等でも見やすいレイアウトに変更するなど大幅にリニューアルしました。

(2) 定期情報誌の発行

(7) 健康や環境に関する最新情報や健診・検査の重要性の解説、当事業団が行う各種事業の取組状況などを掲載した定期情報誌「げんきとちぎ」を年2回、各1,500部発行しました。県や受診団体、医療機関、全国の関係団体などに配付したほか、とちぎ健康づくりセンターのロビーにも設置し、ホームページでも公開しました。

(イ) 食品検査及び腸内細菌検査事業の内容と生活環境に関する関心を高めるとともに、ノロウイルス等の予防について周知する広報誌「アシスト Assist」を年3回、各3,000部発行しました。食品検査の受検事業者や県内の関係団体に配付したほか、とちぎ健康の森の人間ドックフロアにも配置し、ホームページでも公開しました。

(3) 看板等を利用した普及啓発

生活習慣病及びがん検診に関する普及啓発のための看板を年間を通して掲出しました。

- (7) J R宇都宮駅改札前通路の電飾看板
- (イ) 栃木県本庁舎エレベーター内の壁面

第2 県民の健康づくりのための健診・検査等事業及び調査・研究事業

県民の疾病の予防、生活環境の保全、健康の保持増進を図るため、各種の健診・検査事業を実施しました。

令和5年度は、地域健診において、事業団が設定した対象群（40・45・50・55歳の女性）への受診勧奨も積極的に行ったことなどから、新型コロナウイルス感染症拡大前と同程度の受診者数に回復いたしました。

また、先天性代謝異常等検査において、令和4年度に共同研究として実施した脊髄性筋萎縮症と重症複合免疫不全症の2疾患を従来の先天性代謝異常等検査20疾患と併せて、栃木県からの委託事業として実施いたしました。

1 健診・検査等事業の推進（部門別事業件数）

(1) 集団健診部門

ア 地域住民の健康を守る健診・検査事業（地域保健）

(7) 住民健診における特定健康診査の受診者数は、受診勧奨を積極的に行ったことなどから、新型コロナウイルス感染症の影響以前と同程度まで回復し、令和元年度比で100.6%（令和4年度対比：103.3%）となりました。

(4) 塩谷町において「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の観点から、町で実施している健康教室等への参加を促し介護予防事業につなげていくことを目的とし、75歳以上の後期高齢者に対してアルブミン・ふくらはぎ周囲径・握力（左右）の3項目を後期健康診査に併せて測定する「高齢者健診」を実施しました。（実施日数：1日、受診者：83名）

(9) 子宮頸がん検診は、HPV-DNA 併用検診の受診間隔を日本産婦人科医会「子宮頸がん検診リコメンデーション」に準拠した検診受診間隔で実施しており、受診対象者の最も少ない年度となったため、小山地区や芳賀町等で受診者が減少しました。

(5) 健診を受託している市町のうち12市町に対し、事業団において選定した対象群（40・45・50・55歳の女性）へ受診勧奨を行いました（合計9,446通）。今後、効果検証を行い、より有効性の高い対象群への受診勧奨をすることで、経年受診者及び新規受診者の増加を図ります。

事業区分			令和5年度				令和4年度			
			受診団体数	実施件数	要精検者数	%	受診団体数	実施件数	要精検者数	%
胸部検診	肺がん検診	X線検査	17	79,789	2,716	3.4	17	78,489	2,771	3.5
		喀痰細胞診		1,425	3	0.2		1,820	2	0.1
胃検診		X線検査	17	37,569	2,400	6.4	17	39,045	2,532	6.5
		ハイリスク検査	10	3,508	647	18.4	10	3,781	771	20.4
特定健康診査	国保以外	国保	16	44,388	21,403	48.2	16	44,660	21,444	48.0
		社保		8,971	3,711	41.4		8,794	3,583	40.7
		後期高齢者		20,981	10,749	51.2		18,273	9,307	50.9
		健康診査等		4,797	1,318	27.5		4,891	1,334	27.3
	計	16	79,137	37,181	47.0	16	76,618	35,668	46.6	
		風疹抗体検査※1	-	208	-	-	324	-	-	
子宮がん検診	医療機関方式（日母）	集団検診方式	17	27,793	604	2.2	17	28,580	746	2.6
		頸がん	8	9,240	389	4.2	8	8,647	384	4.4
			体がん	7	3,412	12	0.4	7	3,199	13
乳がん検診		マンモグラフィ+超音波	17	44,326	1,560	3.5	17	43,817	1,873	4.3
		超音波		4,627	136	2.9		4,659	159	3.4
		計	17	48,953	1,696	3.5	17	48,476	2,032	4.2

事業区分	令和5年度				令和4年度			
	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
大腸がん検診	16	76,846	3,496	4.5	16	75,514	3,558	4.7
骨密度検診	16	13,777	1,432	10.4	16	13,968	1,526	10.9
前立腺がん検診	16	27,421	2,124	7.7	16	26,634	2,103	7.9
甲状腺超音波検査※2	-	-	-	-	1	222	6	2.7

※1 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象として令和6年度末までの3年間、風しん抗体検査及び予防接種を原則無料で実施している事業

※2 東日本大震災後の住民の健康管理を目的として日光市(平成25～令和4年度)、塩谷町(平成28～令和2年度)で実施している事業

イ 働く人の健康を守る健診・検査事業（職域保健）

- (ア) 全体的には団体ごとの受診者数の減少もありますが、新規団体として、足利大学工学部教職員・学生（健康診断：1,265件）や陸上自衛隊宇都宮駐屯地（胃がん検診：460件）、胸部検診のみ2団体（計110件）の受託がありました。また、既存団体（自治医科大学職員・学生）からも胸部レントゲン検査（結核検診：3,917件）の追加受託がありました。
- (イ) 小規模集合型の健康診断において、開催日数は2日増、受診件数は497件増となりました。また、協会けんぽ被扶養者を対象とした健診において、10月より腸内フローラ検査を新規オプションとして導入し、15件の検査希望がありました。
- (ウ) メンタルヘルス支援事業におけるストレスチェックについては、他機関への移行等により約1,000件減少しました。また、教育研修では、映像コンテンツによる研修事業を日本産業カウンセラー協会が実施したことに伴い、約1,200件の減となりました。
- (エ) ハラスメント防止支援事業における社外相談窓口「ハラスメント相談ほっとライン」は、新たに県立がんセンターに採用され、計8団体を実施しました。また、企業研修では、集合研修だけでなく、録画による映像研修を組み合わせ受講機会を拡大したことにより、約2,100件の増となりました。
- (オ) 腸内細菌検査においては、食品衛生協会会員の減等により件数は減少しました。また、令和6年の食品環境検査所への検査室移転に向けて、準備を進めました。

事業区分		令和5年度				令和4年度					
		受診団体数	実施件数	要精検者数	%	受診団体数	実施件数	要精検者数	%		
胸部検診	結核検診	68	18,111	246	1.4	60	14,069	224	1.6		
	肺がん検診	1,366	X線検査※1	14,309	250	1.7	142	5,568	75	1.3	
			喀痰細胞診	209	0	0.0		259	0	0.0	
胃検診		1,320	11,664	615	5.3	1,300	12,202	643	5.3		
健康診断	一般健康診断		2,353	72,703	21,174	29.1	2,294	72,751	20,967	28.8	
	特殊健康診断※2	法定項目	じん肺	55	706	-	-	61	1,146	-	-
			石棉	18	184	-	-	23	169	-	-
			有機溶剤	91	4,177	-	-	95	4,259	-	-
			電離放射線	27	3,446	-	-	27	3,344	-	-
			鉛	18	592	-	-	19	592	-	-
			特定化学物質	90	4,819	-	-	95	5,976	-	-
	行政指導		有害光線	18	887	-	-	23	919	-	-
			騒音	40	1,578	-	-	47	1,773	-	-
			VDT	18	653	-	-	22	803	-	-
			その他	11	912	-	-	14	1,117	-	-

事業区分			令和5年度				令和4年度			
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
健康診断	メンタル ヘルス支援	ストレスチェック	170	36,102	-	-	173	37,173	-	-
		フォローアップ面談	6	27	-	-	9	35	-	-
		教育研修	7	298	-	-	9	1,496	-	-
		カウンセリング*	17	572	-	-	16	571	-	-
	ハラスメン ト防止支援	ほっとライン	8	-	-	-	7	-	-	-
		企業研修	12	3,254	-	-	15	1,120	-	-
		担当者セミナー	7	19	-	-	17	37	-	-
	風疹抗体検査		-	39	-	-	-	97	-	-
	インフルエンザ予防接種		14	2,831	-	-	15	2,898	-	-
	子宮がん検診（集団検診方式）			422	3,631	76	2.1	421	3,445	108
乳がん 検診	マンモグラフィ+超音波	457	2,242	102	4.5	455	2,027	113	5.6	
	マンモグラフィ		618	29	4.7		646	52	8.0	
	超音波		2,144	94	4.4		2,195	112	5.1	
	計	457	5,004	225	4.5	455	4,868	277	5.7	
大腸がん検診			1,669	24,450	910	3.7	1,637	25,328	949	3.7
骨密度検診			28	501	78	15.6	21	511	71	13.9
前立腺がん検診			289	4,106	206	5.0	303	3,862	216	5.6
腸内 細菌 検査	食品取扱者	マルチプレック スPCR法※3	1,296	80,666	22	0.027	1,339	83,421	25	0.030
	学校給食 従事者等		399	43,993	15	0.034	409	43,151	11	0.025

※1 肺がん検診において、R5年度より全国健康保険協会の「生活習慣病予防健診」受診者（8,666件）の胸部レントゲン検査件数を計上することとしたため、件数が大幅に増加しました。

※2 特殊健康診断の判定は各事業所の産業医が総合的に判断することから、受診団体数と受診者数のみの表記

※3 赤痢菌、サルモネラ属菌、O157やO26、O111等を含む腸管出血性大腸菌を同時にスクリーニング

ウ 子ども及び赤ちゃんの健康を守る健診・検査事業（学域・母子保健）

学域・母子保健は、近年、児童生徒数が減少傾向にあることから、検査件数は昨年度比で減少しています。

- (ア) 心臓検診及び貧血検査においては、学校行事の持久走大会を実施しないことや県立高校・私立高校で独自に実施していた2、3年生を対象とした検査を実施しなくなったことなどにより、受診数が減少しました。
- (イ) 寄生虫卵検査は、学校保健安全法施行規則の法定項目から平成28年4月1日に削除され、年々依頼件数が減少しています。
- (ウ) 先天性代謝異常等検査においては、令和4年度に自治医科大学等と共同研究事業として実施した拡大スクリーニング検査2疾患（脊髄性筋萎縮症・重症複合免疫不全症）が、従来の先天性代謝異常等検査20疾患と併せて、全国に先駆けて県の全額公費負担の対象となり、県からの委託を受け実施しました。

事業区分			令和5年度				令和4年度				
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	
結核検診			98	14,310	36	0.25	99	14,383	33	0.23	
心臓 検診	小学校	心電・心音方式	405	10,436	535	5.13	419	10,716	339	3.16	
		1 2 誘導方式		4,458	221	4.96		4,652	148	3.18	
	中学校	心電・心音方式	111	8,259	541	6.55	111	8,443	386	4.57	
		1 2 誘導方式		107	10	9.35		100	8	8.00	
	高等学校	1 2 誘導方式	94	16,342	1,132	6.93	101	16,748	797	4.76	
骨密度検診			1	64	0	0.00	1	67	0	0.00	
小児生活習慣病予防検診			218	12,792	336	2.63	219	12,982	395	3.04	
生化学検査		生化学検査	3	230	5	2.17	1	245	3	1.22	
		貧血検査	209	17,747	155	0.87	215	18,397	135	0.73	
		血清検査	1	452	-	-	2	606	-	-	
寄生虫・ 尿検査	寄生虫卵検査		40	2,006	3	0.15	38	2,348	3	0.13	
	腎臓 検診	1次検査	415	116,764	6,084	5.21	420	119,444	7,098	5.94	
		2次検査		5,646	1,116	19.77		6,661	1,323	19.86	
	尿 検査	A (蛋白+糖)	1次検査	45	6,217	56	0.90	49	6,874	50	0.73
			2次検査		-	-	-		-	-	-
		B (蛋白+糖+ 潜血)	1次検査	244	31,947	893	2.80	247	33,306	855	2.57
2次検査			-		-	-	-		-	-	

事業区分		令和5年度				令和4年度			
		受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
先天性代謝異常検査	アミノ酸代謝異常症(※1)	-	10,670	1	0.009	-	11,323	-	0.000
	有機酸代謝異常症(※2)			1	0.009			1	0.009
	脂肪酸代謝異常症(※3)			0	0.000			2	0.018
	ガラクトース血症			1	0.009			3	0.026
	先天性甲状腺機能低下症			9	0.084			9	0.079
	先天性副腎過形成症			4	0.037			5	0.044
	低出生体重児(※4)		205	-	-		227	-	-
拡大スクリーニング検査	脊髄性筋萎縮症(※5)	-	10,670	0	0.000	-	10,738	1	0.009
	重症複合免疫不全症(※6)			8	0.075			4	0.037

(※1)(※2)(※3)先天性代謝異常等検査はタンデムマス法による検査で実施し、アミノ酸代謝異常症、有機酸代謝異常症、脂肪酸代謝異常症として下表の17項目の検査を全ての受検者に実施

(※4)先天性代謝異常等検査の「低出生体重児」実施件数は、2次検査の実施件数を計上

(※5)(※6)脊髄性筋萎縮症及び重症複合免疫不全症の2疾患を追加した拡大スクリーニング検査を全ての受検者に実施

区分	対象 疾患数	対象疾患名
アミノ酸代謝異常症(※1)	5	①フェニルケトン尿症 ②ホモシスチン尿症 ③メープルシロップ尿症 ④シトルリン血症I型 ⑤アルギニノコハク酸尿症
有機酸代謝異常症(※2)	7	①プロピオン酸血症 ②メチルマロン酸血症 ③イソ吉草酸血症 ④メチルクロトニルグリシン尿症 ⑤HMG血症 ⑥マルチプルカルボキシラーゼ欠損症 ⑦グルタル酸血症I型
脂肪酸代謝異常症(※3)	5	①CPT-1欠損症 ②MCAD欠損症 ③VLCAD欠損症 ④TFP/LCHAD欠損症 ⑤CPT-2欠損症

エ その他の検査事業（感染症検査事業）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年9月から新規事業として新型コロナウイルス感染症PCR検査及び高感度抗原定量検査を導入し、令和5年度においても引き続き検査体制を整備しましたが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行に伴い、委託事業の終了により、検査件数は昨年度から大幅に減少しました。

(7) 栃木県及び宇都宮市の委託事業として、無症状妊婦を対象としたPCR検査を60件実施しました。

*令和5年6月末分をもって事業終了

(4) 佐野市から市民を対象とした検査を受託し、抗原定量検査を16件実施しました。

*令和5年4月末分をもって事業終了

事業区分		令和5年度		令和4年度	
		人数	日数	人数	日数
新型コロナウイルス感染症 PCR検査	一般	-	-	32	16
	無症状妊婦 ※1	60	34	976	134
	小計	60	34	1,008	150
新型コロナウイルス感染症 高感度抗原定量検査	一般	16	1	1,680	59
	一定高齢者等 ※2	-	-	-	-
	行政検査委託分 ※3	-	-	369	17
	小計	16	1	2,049	76

※1 無症状妊婦:不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査事業

※2 一定高齢者等:新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業

※3 行政検査委託分:栃木県から行政検査委託の依頼があった際に対応する

(2) 施設健診部門

ア 人間ドック

(ア) 令和5年度の開催日は、当初の計画どおり233日間でした。

(イ) 基本コースの実施人数は、新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少してきたことや、市町職員や県職員で会計年度任用職員が健保切替に伴い、人間ドック受診が可能となったことなどから受診者が増加し、合計で昨年度比274名増の11,561名でした。1日あたりの実施件数は昨年度比1.2名増の49.6名でした。

(ウ) オプション検査では、胃内視鏡検査の受診希望者が年々増加しており、令和5年度は345件増の3,504件実施しました。また、今年度新たに3Dマンモグラフィ検査を開始し、1,011件実施しました。

事業区分	令和5年度			令和4年度			
	実施件数	要精検者数	%	実施件数	要精検者数	%	
基本コース	11,561	4,064	35.2	11,287	3,703	32.8	
婦人ドックコース	21	3	14.3	33	2	6.1	
肺ドックコース	4	0	0.0	5	0	0.0	
オプション検査	乳腺超音波検査	3,420	64	1.9	3,312	89	2.7
	2Dマンモグラフィ	2,421	55	2.3	2,291	49	2.1
	3Dマンモグラフィ	1,011	-	-	-	-	-
	子宮頸がん検査	2,809	32	1.1	2,725	39	1.4
	経膈超音波検査	223	9	4.0	217	8	3.7
	骨粗鬆症検査	481	57	11.9	454	66	14.5
	PSA検査 (前立腺がん検査)	1,803	97	5.4	1,861	76	4.1
	胸部CT検査	788	12	1.5	779	9	1.2
	胃内視鏡検査	3,504	106	3.0	3,159	68	2.2
	血管年齢測定	332	-	-	396	-	-
	内臓脂肪測定	257	-	-	292	-	-
	HPV検査 (ヒトパピローマウイルス)	74	-	-	73	-	-
	甲状腺超音波検査	377	15	4.0	394	15	3.8
	甲状腺機能検査	251	0	0.0	247	1	0.4
	視野検査	245	23	9.4	278	34	12.2
	頸動脈超音波検査	433	7	1.6	456	12	2.6
	ペプシノゲン検査	545	-	-	646	-	-
	血中ピロリ抗体検査	726	-	-	817	-	-
	HOMA-R (インスリン抵抗性検査)	141	-	-	151	-	-
	姿勢分析	32	-	-	66	-	-
アレルギー検査	113	-	-	120	-	-	
サインポスト遺伝子検査	28	-	-	47	-	-	
風疹抗体検査	14	-	-	38	-	-	
NT-proBNP (慢性心不全リスク検査)	110	0	0.0	225	1.0	0.4	

イ 特定健康診査

人間ドックフロアを使用して実施している特定健康診査は減少し、令和5年度は70名実施しました。

事業区分	令和5年度			令和4年度		
	実施件数	要精検者数	%	実施件数	要精検者数	%
特定健康診査 社 保	70	26	37.1	77	28	36.4

ウ 健康づくりセンター支援事業

栃木県、社会福祉法人とちぎ健康福祉協会及び当事業団の3者による「とちぎ健康づくりセンター事業の一層の推進のための取り組みの実施に関する協定書」に基づき、次の事業を実施しました。

(7) 医師の派遣

とちぎ健康づくりセンター利用者に対する医学的助言、スタッフに対する助言指導、健康づくり講座の講師として医師を派遣しました。

(イ) とちぎ健康づくりセンターと連携した取組

とちぎ健康づくりセンターの利用者や事業団の特定保健指導対象者が、それぞれの施設の機能（センター：トレーニング施設、事業団：医学的検査）を活用しやすいように、スタンプカードや施設利用券を発行して利用促進を図りました。

(ウ) 県民の日イベントへの協力

社会福祉法人とちぎ健康福祉協会が主催する「とちぎ健康の森フェス」で、骨密度測定（無料）を実施しました。

(3) 保健指導部門

ア 特定保健指導の実施

- (7) 人間ドックや集団健診後の特定保健指導は、20 団体の 1,115 人に実施しました。動機付け支援は 657 人、積極的支援は 458 人でした。
- (イ) 初回分割面接（集団健診当日において血液データ等が揃わない段階での保健指導）を一部保険者の依頼により 51 名に実施しました。
- (ウ) 令和 6 年 4 月から開始する第 4 期特定保健指導に向け、運用方法の見直しや新たな電算システムの導入などに取り組みました。

事業区分			令和5年度		令和4年度		
			実施団体数	実施件数	実施団体数	実施件数	
特定保健指導	市町村国保	出張型	動機付け支援	2	78	3	397
			積極的支援	4	107	4	104
		施設型	動機付け支援	1	28	1	33
			積極的支援	1	9	1	3
	その他	出張型	動機付け支援	6	104	6	90
			積極的支援	6	101	6	70
		施設型	動機付け支援	11	447	14	459
			積極的支援	9	241	12	217
	合計	動機付け支援		20	657	24	979
		積極的支援		20	458	23	394
		総実施件数			1,115		1,373

※出張型：依頼団体が指定した会場に出張して保健指導を実施する場合

施設型：とちぎ健康の森内で保健指導を実施する場合

※動機付け支援の中に動機付け支援相当10件（市町村国保出張型2件、その他出張型3件、その他施設型5件）を含む

※合計の実施団体数は延数

イ 専門職派遣、健康教室等の受託

市町や事業所等から専門職の派遣や健康教室等の依頼を受け、保健師・管理栄養士・健康運動指導士を派遣しています。

令和 5 年度は健診事後指導を 6 団体に対し 51 日間、健康教室等は 6 団体に対し 20 日間実施しました。健康教室では対象や内容も多岐にわたり、生活習慣病のほか障害者雇用に積極的な事業所での体力測定・健康講話、従業員を対象とした「メンタルヘルス」、介護予防指導員を対象とした運動指導などを実施しました。

事業区分			令和5年度		令和4年度	
			実施団体数	実施日数	実施団体数	実施日数
専門職派遣	市	町	5	47	4	65
	事業所		6	15	6	13
	その他		-	-	-	-
健康教室等	市	町	-	-	-	-
	事業所		3	14	3	13
	その他		-	-	-	-
合計			14	76	13	91

ウ 健康相談センター事業

県民からの様々な相談に対し、医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等の専門スタッフが対応しています。

令和5年度は139件の相談があり、内容としては人間ドック・集団健診等の検査所見や医療機関紹介に関する相談が全体の半数以上を占めています。

相 談 内 容 区 分	令和5年度				令和4年度			
	人間ドック		集団健診等		人間ドック		集団健診等	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
検 査 所 見	13	19.4	20	27.8	29	34.5	13	29.5
医 療 機 関 紹 介	14	20.9	19	26.4	24	28.6	16	36.4
検 査 内 容	-	-	4	5.6	1	1.2	1	2.3
生 活 習 慣	5	7.5	5	6.9	3	3.6	3	6.8
紹 介 状	18	26.9	7	9.7	13	15.5	-	-
そ の 他	17	25.4	17	23.6	14	16.7	11	25.0
小 計	67	100	72	100	84	100	44	100
合 計	139				128			

(4) 食品環境検査部門

ア 食品検査

消費または賞味期限を決定するための検査である保存試験と栄養成分検査の依頼が減り、細菌検査は昨年度比 533 件減の 7,560 件、理化学検査は昨年度比 76 件増の 925 件実施しました。

イ ノロウイルス検査

県内でノロウイルス食中毒が昨年度と比べ多く発生したことから依頼数が増え、129 件増の 1,049 件実施いたしました。

ウ 放射能検査

放射能検査は、宇都宮市上下水道局からの依頼が減り昨年度比 63 件減の 479 件実施しました。

事業区分		令和5年度			令和4年度		
		実施件数	不適件数	%	実施件数	不適件数	%
食品検査※	細菌検査	7,560	19	0.25	8,093	18	0.22
	理化学検査	925	1	0.11	849	2	0.24
	農薬検査	3,818	0	0.00	3,748	0	0.00
	ノロウイルス検査	1,049	53	5.05	920	20	2.17
放射能検査	食品・環境試料等	274	0	0.00	293	0	0.00
	飲料水	205	0	0.00	249	0	0.00
	計	479	0	0.00	542	0	0.00

※ 食品検査は、検査項目数を実施件数としています。

エ 食品自主衛生管理認証制度（とちぎ HACCP）

認証業務を行う認証機関として 12 回の審査会を開催し、3 件の新規認証と 20 件の認証更新を行いました。

区分	令和5年度	令和4年度
新規	3	4
更新	20	20
計	23	24

オ 簡易専用水道検査等

(ア) 簡易専用水道検査は、栃木市教育委員会等からの受託があり現場検査を昨年度比 22 件増の 1,326 件実施しました。

(イ) 一般水質検査は、主に温泉水や浴槽水のレジオネラ属菌検査等を昨年度比 70 件増の 556 件実施しました。

その他（嫌気性芽胞菌など）の検査を昨年度比 11 件増の 165 件実施しました。

事業区分		令和5年度			令和4年度			
		実施件数	不適件数	%	実施件数	不適件数	%	
簡易専用水道検査等	簡易専用検査	現場検査	1,326	21	1.58	1,304	31	2.38
		書類検査	131	0	0.00	136	0	0.00
	一般水質検査	レジオネラ属菌検査等	556	69	12.41	486	44	9.05
		その他（嫌気性芽胞菌など）	165	0	0.00	154	0	0.00

2 健診・検査等結果に基づく調査・研究事業

県民の疾病予防、生活環境の保全、健康の保持増進及び県内における検診技術や学術水準の向上を図るため、健診・検査等で得られたデータの集統計及び解析やがん検診受診者の精密検査受診状況の追跡調査を行い、その結果及び検診手法などに関して得られた成果を学会に発表するほか、事業年報等にまとめて市町や事業所などの受診団体等に対して提供することにより、疾病予防対策及び県民の健康管理の基礎資料としての活用を促進しました。

また、県民向けの健康情報等の発信を定期情報誌やホームページを活用して実施するとともに、当該成果等を活用して各種の普及啓発事業を実施しました。

(1) 発見がん追跡調査の実施

令和4年度に、住民健診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診や人間ドックを受け、精密検査が必要になった受診者のうち、精密検査結果連絡票にがん又はがん疑いと記載のあった症例について、発見がん追跡調査を実施しました。各がん取扱い規約に基づいた詳細な内容を把握する調査票を、精密検査を実施した117医療機関宛てに1,222枚送付し、回収できたのは1,187枚（回収率97.1%）でした。

これにより、がん発見率や陽性反応適中度等のプロセス指標値の遵守状況を把握し、がん検診の精度管理状況の評価をし、改善に向けた検討を行っています。なお、追跡調査結果は、読影医及び調査協力医療機関に報告しています。

(2) 放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究への協力

厚生労働省では福島第一原子力発電所において緊急作業に従事した作業員の長期にわたる健康影響を明らかにすることを目的に、平成26年度から約30年間にわたる疫学的研究を実施しています。当事業団では県内唯一の健診受託機関として参画しており、令和5年度は17名の対象者に健康診査を実施しました。

(3) 低線量CTによる肺がん検診の無作為化比較試験への協力

肺がんによる死亡者が増加していることから、日本医療研究開発機構(AMED)は、非・低喫煙者を対象に胸部X線検査を行う検診と、胸部CT検査を行う検診の無作為化比較試験を実施し、胸部CT検査の有効性を検証しています。当事業団は、令和4年12月からこの事業に参加し、令和5年度は104名に検査を実施しました。この比較試験は令和5年度をもって新規募集は終了となりますが、胸部CT検査の対象者は、5年後に再度胸部CT検査を行う予定となっています。

(4) 診断結果等の提供

健診・検査等で得られたデータ及びそれらのデータを統計的に分析したものを、受診団体及び調査・研究機関等に提供しました。

ア 地域・職域診断サービス報告書を受診団体へ提供

受診団体における健康づくりに活用いただくために、健康診断の有所見率や生活習慣などについて当該団体と全国・県データを比較評価し、報告書として提供しています。さらに要望に応じて保健師等を派遣し、分析結果や改善策について直接説明を行っています。

令和5年度は20団体（14市町・6事業所）に提供しました。

*全国・県のデータは公益財団法人予防医学事業中央会の「地域職域診断サービス」を活用

イ 事業年報作成及び配布

健診・検査で得られたデータの集統計や解析、がん追跡調査の結果等をまとめた当事業団発足以来発行している事業年報（第47号）を640部作成しました。県民の疾病予防及び健康増進のための基礎資料や、地域・職域において実施される保健事業の計画及び市町が定める健康増進計画策定等の参考にできるように、県、市町、受診団体、医療機関、大学などの関係機関に配付したほか、より多くの方が利用できるようホームページに公開しました。

ウ 各種学会研修会等での公表

研究の成果を広く県内関係団体や全国的な研究機関等における疾病の予防、生活環境の保全、健康増進のための基礎資料として活用の促進に繋げるため、事業の成果を次のとおり学会で発表し、公表しました。

学会名（開催日・開催場所）	演 題
第61回栃木県公衆衛生学会 ・令和5年9月5日 ・宇都宮市	1 胸部X線画像AI読影支援システムの構築について 2 令和4年度における脊髄性筋萎縮症および複合免疫不全症を対象とした臨床研究事業の実施状況報告
第33回日本乳癌検診学会 ・令和5年11月24日 ・福岡県	1 総合判定において精検不要とした所見からの検討
第51回建築物環境衛生管理全国大会 ・令和6年1月18日 ・東京都	1 過去の簡易専用水道検査結果に基づく貯水性の劣化傾向と耐用年数についての考察
第57回全国予防医学技術研究会 ・令和6年3月7日 ・神奈川県	1 発見大腸がん追跡調査の結果における一考察 2 胃X線検査を安全に実施するための取り組み

3 精度管理の充実

(1) 内部精度管理

ア 当事業団施設で行われている各部門の検体検査について、日常的なデータの精度が一定基準の範囲内にあるか得られたデータをもとに統計学的手法を用いて解析評価を行いました。また、既知試料（標準物質）などを使用して、日々の検査精度（精密度や正確度）の確認を行いました。

さらに精度向上のため、肺がん検診、胃がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、心電図判定について外部の専門家を含めた委員会を開催しました。

委 員 会 名	開 催 日	開 催 場 所
精度管理専門委員会肺がん検診委員会	令和6年3月14日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会胃がん検診委員会	令和6年2月22日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会子宮頸がん検診委員会	令和6年3月11日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会乳がん検診委員会	令和6年3月12日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会心電図検査委員会	令和6年3月15日	とちぎ健康の森

(2) 外部精度管理

外部精度管理については、次に示す第三者機関が実施する精度管理調査に参加し、客観的評価を受けて検査精度を確認し、精度管理の徹底を図りました。

区 分	精 度 管 理 名	実 施 団 体 名	評 価
胸部X線検査	胸部画像精度管理研究会	公益財団法人結核予防会	評価A、B
	胸部X線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	総合評価A
肺がん検診 子宮がん検診 (細胞診)	日臨技臨床検査精度管理調査	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	全て評価A
胃がん検診	胃部X線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 一般社団法人日本消化器がん検診学会	総合評価A

区 分	精 度 管 理 名	実 施 団 体 名	評 価
健康診断 特殊健康診断 生化学検査 特定健康診査	日本医師会臨床検査精度管理調査	公益社団法人日本医師会	3項目4ツブの評価B その他は全て評価A
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
	全衛連臨床検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
	予防医学事業中央会精度管理調査 健診・検査データ共有化事業	公益財団法人予防医学事業中央会	総合評価A
	労働衛生検査に関する精度管理調査 (鉛・有機溶剤健康診断に係る代謝物等の 測定に関する精度管理調査)	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
超音波検査	腹部超音波検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 公益社団法人日本人間ドック学会	評価A
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
心電図検査	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
先天性代謝 異常検査	先天性代謝異常症等 マス・スクリーニング精度管理	一般社団法人日本マススクリーニング学会	検査精度は適正
食品検査	食品衛生外部精度管理調査	一般財団法人食品薬品安全センター	全て満足
放射能検査	放射性物質測定技能試験	公益財団法人日本分析センター 一般財団法人日本食品検査	満足
簡易専用水道検査	簡易専用水道外部精度管理調査	厚生労働省 一般社団法人全国給水衛生検査協会	評価S

4 優良施設認定等の維持

当事業団は次に示す全国的評価機関の行う各種認定を受け、人材の育成、機器の管理、システムの充実に努めました。

区 分	認 定 等 の 名 称	認 定 団 体
乳がん検診	マンモグラフィ検診施設画像認定	特定非営利活動法人日本乳がん検診 精度管理中央機構
特定健康診査 健康診断	労働衛生サービス機能評価認定機関	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価委員会
	健診・検査データ共有化事業認証施設	公益財団法人予防医学事業中央会
	臨床研修協力施設	厚生労働省
細胞診	日本臨床細胞学会認定施設	公益社団法人日本臨床細胞学会
人間ドック	人間ドック健診施設機能評価認定施設	一般社団法人日本病院会 公益社団法人日本人間ドック学会
簡易専用水道検査	水道法第34条登録検査機関 (登録番号第41号)	厚生労働省
個人情報保護	プライバシーマーク	一般財団法人日本情報経済社会推進協会

5 学術委員による指導

健診・検査の精度の向上や効果の高い事業を実施するため、自治医科大学・獨協医科大学などの公衆衛生をはじめとした各部門の専門医である13名の学術委員より指導を受け、検査システムの構築や改善並びに精度向上に努めました。

学 術 委 員 氏 名	所 属
阿 江 竜 介	自治医科大学 地域医療学センター 公衆衛生学部門教授
藤 原 寛 行	自治医科大学 産科婦人科学講座主任教授
妹 尾 正	獨協医科大学 医学部大学院 眼科学教授
小 橋 元	獨協医科大学 副学長 獨協医科大学 医学部 公衆衛生学講座教授

学 術 委 員 氏 名	所 属
入 澤 篤 志	獨協医科大学 医学部 内科学（消化器）主任教授 獨協医科大学病院 副病院長
小 嶋 一 幸	獨協医科大学 医学部 上部消化管外科学（一般外科）主任教授
福 島 啓 太 郎	獨協医科大学 医学部 小児科学講師
難 波 美津雄	佐野医師会病院 名誉院長
山 形 崇 倫	栃木県リハビリテーションセンター 医療局長
柴 信 行	国際医療福祉大学 医学部教授 那須シミュレーション医学センター長 国際医療福祉大学病院 副院長 国際医療福祉大学塩谷病院 副院長
鈴 木 光 明	新百合ヶ丘総合病院 がんセンター センター長 自治医科大学 名誉教授
安 藤 二 郎	地方独立行政法人栃木県立がんセンター 病院長
小 林 望	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 検診センター長

6 健診・検査等における新たな手法の取組

行政や医師会、大学病院等と連携し、より精度の高い効果的な手法による健診・検査を実施して、新たな手法等の検証や精度管理の向上に係る研究等を積極的に行いました。

(1) 先天性代謝異常等検査における拡大スクリーニング検査の追加

令和4年度に共同研究事業として実施した拡大スクリーニング検査2疾患（脊髄性筋萎縮症・重症複合免疫不全症）が、従来の先天性代謝異常等検査20疾患と併せて、全国に先駆けて県の全額公費負担の対象となり、県からの委託を受け実施しました。

7 健診・検査等の質の向上のための連携体制の構築

行政や他の検診機関、関係機関等と連携した協議会等の主催や研修会の開催及び全国の関係機関との情報交換の実施等の各種取組を展開し、県民の健康の保持増進や県内の健診・検診等の質の向上を図りました。

(1) 栃木県がん集検協議会・がん集団検診従事者研修会の運営

県民に、より精度の高いがん検診を提供するため、がん検診の有効な実施手法の検討及びがん検診従事者の資質向上等を目的として、県内の保健所、市町、医師会及び大学病院や検診機関などの医療関係機関などを構成員とした栃木県がん集検協議会を栃木県立がんセンターと協力して運営し、全県的な発見がん追跡調査を行うとともに、次に示す研修会等を開催しました。

研 修 会 等 名 称	開 催 日	開 催 場 所
第1回精度管理部会	令和5年 8月22日	とちぎ健康の森
第1回前立腺がん検診部会	令和5年 9月22日	とちぎ健康の森
子宮がん検診従事者研修会	令和5年12月9日	栃木県立がんセンター
胃がん検診従事者研修会	令和6年 2月22日	Web形式
乳がん検診従事者研修会	令和6年 3月5日	Web形式
大腸がん検診従事者研修会	令和6年 3月7日	Web形式
第2回前立腺がん検診部会	令和6年 3月8日	とちぎ健康の森
精度管理研修会	令和6年 3月12日	とちぎ健康の森
肺がん検診従事者研修会	令和6年 3月14日	Web形式
第2回精度管理部会	令和6年 3月18日	書面開催

(2) 栃木県集団検診実施機関連絡協議会の運営

県内における集団検診の向上発展を図ることを目的として、栃木県集団検診実施機関連絡協議会の事務局を運営し、連絡会議等を開催しました。

開催月日	主たる審議事項
令和5年 9月15日 (とちぎ健康の森)	<p>1 議題</p> <p>(1) 役員の選任について</p> <p>(2) 令和4年度事業報告</p> <p>(3) 令和4年度収支決算報告および令和4年度監査報告</p> <p>(4) 令和5年度事業計画</p> <p>(5) 令和5年度収支予算</p> <p>2 意見交換</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症への対策について</p> <p>(1) コロナ感染者療養期間解除後若しくは濃厚接触者の受診について</p> <p>(2) アフターコロナに伴う健診機関の対応について</p> <p>(3) コロナ5類移行後の感染対策について</p> <p>(4) 新型コロナウイルス5類移行後の健診スタッフの感染対策について</p> <p>2. 各種検診検査での対応について</p> <p>(1) 血圧計について</p> <p>(2) 腹部超音波検査にて検査する場所について</p> <p>(3) 健診現場での医療機関向け紹介状の発行について</p> <p>3. 事務作業における課題について</p> <p>(1) 人間ドック申込み（Webによる自動化）について</p> <p>(2) 人間ドックの事前書類および結果報告書の送付方法について</p> <p>(3) 紹介状発行時の対応について</p> <p>4. その他</p> <p>(1) L G B T関連の対応について</p> <p>3 報告事項およびその他</p>

(3) 専門医師、技術者の講師派遣等

当事業団が有する検診技術等を広く普及させ、県民の健康保持・増進に繋げていくため、公益財団法人日本対がん協会や特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構等が行う各種講習会や研修会に主催団体からの依頼に応じて医師等を講師として派遣しました。

主な派遣先は次のとおりです。

研修会等名称	講師派遣
産業保健セミナー 計8回（栃木産業保健総合支援センター、真岡労働基準協会、日光労働基準協会）	医師
認定産業医研修 計5回（地区医師会・栃木産業保健総合支援センター共催）	医師
特定化学物質、四アルキル鉛等作業主任者技能講習 計5回（人財学園）	医師
有機溶剤作業主任者技能講習 計2回（人財学園）	医師
第82回、88回マンモグラフィ更新講習会	医師
第21回マンモグラフィ読影指導者研修会	医師
第54回マンモグラフィ読影講習会	医師
乳房超音波更新講習会（第26回医師・第27回技術・第29回技術）	医師
乳房超音波新規講習会（第21回技術）	医師
第18回乳房超音波医師講習会（日本産婦人科乳癌医学会）	医師
第11回日本対がん協会乳房超音波技術講習会	医師
第18回Tokyoマンモグラフィ技術講習会	医師

(4) 研究会・研修会及び会議等への参加及び情報交換

公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会が開催する全国大会や公益財団法人予防医学事業中央会が開催する各全国大会やブロック会議などに参加し、全国の各種予防医学活動の動向を把握するほか、全国の関係団体間での精度管理、血液検査データの共有化などを図り、県民に対して、より精度の高い健診・検査を提供できるよう努めました。

(5) 県などが実施する各種検討会への参画

栃木県などが県民の健康保持・増進やがんなどの生活習慣病対策のために設立している各協議会等に委員として参画しました。なお、主な協議会等への参加状況は次のとおりです。

委員会名	委員会における役職	開催日	出席者
栃木県がん集検協議会	副会長	令和5年6月29日	理事長
	理事		医療局長
	副会長	令和5年8月1日	理事長
	理事		医療局長
栃木県公衆衛生協会	副会長	令和5年7月7日	理事長
		令和6年2月8日	
栃木産業保健総合支援センター運営協議会	委員	令和5年11月14日	理事長
栃木県がん対策推進協議会 がん検診部会	委員	令和5年7月18日 (Web開催)	医療局長
栃木県がん対策推進協議会 がん登録部会	委員	令和5年8月10日 (Web開催)	乳がん検診部長
とちぎ健康21プラン推進協議会	委員	令和5年10月6日	理事長
とちぎ健康21プラン推進協議会及び健康長寿とちぎづくり推進協議会幹事会	委員	令和6年3月4日	理事長
栃木県医療費適正化計画協議会	委員	令和5年9月4日 (Web開催)	医療局長
		令和5年11月8日	
		令和5年12月22日	
		令和6年2月8日	

(6) 公衆衛生学実習生の受入れ

公衆衛生学の実習生受け入れを次のとおり実施しました。

内容	実施日	対象	人数
公衆衛生看護学実習Ⅱ	令和5年6月5日	足利大学看護学部4年生	40人
公衆衛生学実習(環境衛生について)	令和5年7月19日～7月28日(6日間)	栃木県立衛生福祉大学校臨床検査学科3年生	16人
公衆衛生看護学実習Ⅱ(健診機関における保健活動)	令和5年9月26日	栃木県立衛生福祉大学校保健学科	31人
健診業務における臨床検査技師の役割及び他職種との連携について	令和6年2月26日	栃木県立衛生福祉大学校臨床検査学科2年生	16人

8 会議等の開催

(1) 評議員会・理事会

令和5年度の評議員会・理事会を次のとおり開催しました。

会議名	開催月日	主たる審議事項
第29回 評議員会	令和5年4月26日 (全員同意によるみなし決議)	1 監事の選任について
第30回 評議員会	令和5年6月20日	1 令和4年度事業報告の承認について 2 令和4年度決算の承認について 3 任期満了に伴う役員の選任について
第64回 理事会	令和5年4月14日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について
第65回 理事会	令和5年5月8日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員選定委員会委員の選任について

会議名	開催月日	主たる審議事項
第66回理事会	令和5年5月15日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員候補者の推薦について
第67回理事会	令和5年5月26日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員選定委員会委員の選任について
第68回理事会	令和5年6月5日	1 令和4年度事業報告について 2 令和4年度決算報告について 3 評議員会の開催について 4 評議員候補者の推薦について 5 業務執行状況の報告 6 理事田村明彦氏との業務委託契約について
第69回理事会	令和5年6月20日 (全員同意によるみなし決議)	1 常務理事の選定について
第70回理事会	令和5年7月13日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員候補者の推薦について
第71回理事会	令和6年3月13日	1 令和5年度補正予算について 2 令和6年度事業計画について 3 令和6年度予算について 4 役員賠償責任保険の加入について 5 常勤役員の期末手当の額について 6 常勤役員の業績手当の支給及び額について 7 常勤役員の報酬月額について 8 業務執行状況の報告

(2) 評議員選定委員会

令和5年度の評議員選定委員会を次のとおり開催しました。

会議名	開催月日	主たる審議事項
第17回評議員選定委員会	令和5年5月19日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について
第18回評議員選定委員会	令和5年6月9日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について 2 評議員の選任について 3 評議員の選任について
第19回評議員選定委員会	令和5年8月8日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について

(3) その他の会議

その他の会議を次のとおり開催しました。

会議名	開催月日	主たる審議事項
令和5年度 住民健診担当者 意見交換会	令和6年 3月12日 (とちぎ健康の森)	1 がん検診精度管理に関する研修会 (1) 発見がん追跡調査報告 (2) がん検診における精密検査「受診・未受診・未把握」 2 意見交換 (1) 受診勧奨事業(統一勧奨)についての結果報告 (2) 令和6年度の変更点について (3) 自治体意見交換 Web予約システムの更新(及びシステムを活用した受診勧奨等)について 備両備システムズ 様

会議名	開催月日	主たる審議事項
第7回 とちぎ産業保健 セミナー	令和6年 3月19日 (WEB開催)	1 令和6年度 検診・検査の変更点など (精度管理部門) 2 令和6年度 検診に関する変更点など (集団健診部門) 3 講演 「働く世代からの、ロコモティブシンドローム入門」 講師：NTT東日本 関東病院 院長 ロコモ チャレンジ！推進協議会 委員長 日本整形外科学会 理事 大江 隆史 先生

9 安全管理体制の充実

(1) 個人情報保護マネジメントシステム (プライバシーマーク) の推進

当事業団が取り扱う多くの要配慮個人情報の管理の重要性を踏まえ、職員意識の向上と、個人情報の取り扱いについての社会的信用を確立することを目的に、プライバシーマーク制度を導入し、個人情報保護マネジメントシステム運用しています。平成17年度に県内医療機関初の認定を受けたプライバシーマーク制度の趣旨に基づき、継続的にJIS要求規格に適応した個人情報保護マネジメントシステムの改善に努めています。令和5年度は2年に1度の更新審査の年でしたが、10回目の付与適格が決定しました。

(2) リスク管理システムの推進

安全かつ適切な業務の管理・推進のために設置しているリスク管理委員会において、インシデント事例の収集やアクシデント防止の対策等について審議し、職員教育に取り組むなど組織全体で情報の共有を行い、リスク管理体制を強化し安全性の向上に努めました。

10 機器等の整備

健診・検査精度の向上や効率化を図るため、次のとおり機器、電算システム及び車両等を整備しました。

(1) 検査等機器

(取得価格 1,000,000 円以上)

No.	機器名等	型式・規格	数量	用途	区分
1	解析付心電計	フクダ電子(株) FCP-9800	3	特定健康診査 健康診断	更新
2	心電心音解析装置	フクダ電子(株) ECP-8641	4	心臓検診	更新
3	液状検体処理装置	ベクトンディッキンソン(株) BDTMトータリスマルチプロセッサ	1	子宮がん検診	更新
4	超音波診断装置	コニカミノルタ(株) SONIMAGE HS2	3	乳がん検診	更新
5	上部消化管用スコープ	富士フィルム(株) EG-840N	1	人間ドック	新規
6	無散瞳眼底カメラ	(株) トプコン TRC-NW500	1	人間ドック	更新
7	自動視野計	カイゲンファーマ(株) 視機能評価機アイモscan	1	人間ドック	更新

(2) 電算システム(ハードウェア・ソフトウェア)

No.	システム名	システム内容等	数量	開発委託先	区分
1	健診管理システム	住民健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
2	健診管理システム	事業所健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
3	健診管理システム	特殊健康診断用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
4	健診管理システム	第4期特定健診対応 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
5	腸内細菌システム	腸内細菌検査システムサーバ (ハードウェア)	1	(株)ケーシーエス	新規
6	ストレスチェックシステム	ストレスチェック2次用サーバ (ハードウェア)	1	(株)ケーシーエス	更新
7	人間ドックシステム	人間ドック情報管理システム機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)メルクスシステム	新規
8	人間ドックシステム	第4期特定健診対応 (ソフトウェア)	1	(株)メルクスシステム	新規
9	画像管理システム	人間ドック超音波画像システム ゲートウェイPC (ハードウェア)	1	(株)スリーゼット	更新

No.	システム名	システム内容等	数量	開発委託先	区分
10	画像管理システム	臨床検査画像管理サーバ (ハードウェア)	1	(株)スリーゼット	更新
11	画像管理システム	ランサムウェア対策バックアップ用HDD (ハードウェア)	1	(株)スリーゼット	新規
12	就業管理システム	就業管理システム (ソフトウェア)	1	アマノ(株)	更新
13	就業管理システム	就業管理システムサーバ (ハードウェア)	1	コムコ(株)	更新
14	財務会計システム	請求システム機能追加 (ソフトウェア)	1	満喜(株)	新規
15	財務会計システム	財務会計サーバ (ハードウェア)	1	コムコ(株)	更新

(3) 車両

No.	車両名	型式・規格	数量	用途	区分
1	胃部検診車	いすゞ 2PG-CXY77DJ 富士 ESPACIO AVANT	1	胃検診	更新
2	胸部検診車 (X線撮影装置載せ替え)	キヤノンメディカルシステムズ SREX-A32B	1	胸部検診	新規
3	腸内細菌検体回収車	日産ADハソHR15DE	2	腸内細菌検査	新規

(4) 建物附属設備

No.	資産名	型式・規格	数量	用途	区分
1	腸内細菌検査室間仕切り工事 (食品環境検査所へ移転)	腸内細菌検査室間仕切り壁	1	腸内細菌検査	新規